

図書紹介 2015年12月

日本人なら知っておきたい
日本文学
蛇蔵&海野 凧子
幻冬舎



日本の配色

文：佐野 敬彦
PIE BOOKS



教科書にでてきた古典の著者がどんな人物だったか知っていますか？その人となりを知ると、新たな視点で古典を読んでみたくなります。

日本には250種類もの和色があります。日本人の色彩感覚・配色の素晴らしさが、日本古来の陶磁器や着物、絵画、甲冑などで紹介されています。

村上海賊の娘 上・下

和田 竜
新潮社



鹿の王 上・下

上橋 菜穂子
角川書店



書店員がいちばん売りたい本、2014年の本屋大賞作品。戦国時代、瀬戸内海で活動していた村上水軍を題材とした小説です。

「多様な文化や価値観が入り混じる社会における人々の衝突と葛藤、共生の喜びを描こうとしてきた」作者談。そんな上橋ワールドに引き込まれます。

くじけないで

柴田 トヨ
飛鳥新社



あなたもこうしてダメされる

ロバート・レヴィーン
草思社



90歳を過ぎて詩作を始めたトヨさん。長い人生を経てきたからこそその説得力、やさしい言葉が身に沁みます。

本書は原題を直訳すると「説得力」。人は自分で思っているより説得されやすく、自覚がないときに説得されてしまうと言います。自分は大丈夫と思っている方、必読です。

はじめての
研究生活マニュアル
西澤 幹雄
化学同人



アンガーマネジメント
怒らない伝え方
戸田 久実
かんき出版



理系学生向けの卒業研究マニュアルです。メールなどの基本的なマナーから、実験、研究発表、研究室での作法まで。卒業研究の不安を解消してくれます。

怒りは誰もが持っている感情です。怒りがどういうものか、怒らない具体的な伝え方や、感情のコントロール方法など、わかりやすく解説されています。

* 学生相談室では図書の貸出をしています。
貸出期間は2週間です。